

エコアクション21
環境経営活動レポート
2023年度版

＜活動期間 2023年4月～2024年3月＞

発行日 2024年6月21日

メイトク株式会社

目 次

1. 環境経営方針	P1
2. 会社概要	P2
3. 全社見取り図	P2
4. 環境経営活動組織図	P3
5. 環境経営目標	P4
6. 本年度環境経営活動取組内容	P4
7. 本年度環境経営目標値と実績	P5
参考資料 年度別比較グラフ	P5
8. 本年度環境経営活動の取組結果の評価	P6
9. 次年度環境経営目標	P7
10. 次年度環境経営活動取組内容	P7
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P8
12. 緊急時対応訓練	P8
13. 代表者による見直し	P9

1.環境経営方針

環境経営方針

基本理念

メイトク株式会社は、地域および地球規模の環境の保全が極めて重要な課題のひとつであることを認識し、全社を挙げて環境負荷の低減に努力します。

基本方針

- 1.当社の事業活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
- 2.当社の事業活動、製品及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を遵守します。
- 3.当社の事業活動、製品及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1)二酸化炭素排出量の削減
 - ①電力使用量の削減
 - ②化石燃料使用量の削減
 - (2)廃棄物排出量の削減
 - (3)グリーン購入の推進
 - (4)水使用量の抑制
 - (5)環境に配慮した活動の推進
 - (6)環境啓発活動の推進
 - (7)化学物質使用量の把握
- 4.環境マネジメント活動への継続的な取り組みを通じて、原価低減・生産性向上・不良率低減を図り、より良い企業活動の実現を目指します。
- 5.一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境方針を全従業員に周知するとともに社外へも公表します。

上記の方針達成のために、目標を設定し定期的に見直し、環境マネジメントシステムを推進します。

2019年4月1日制定
メイトク株式会社
代表取締役 田中 達也

2.会社概要

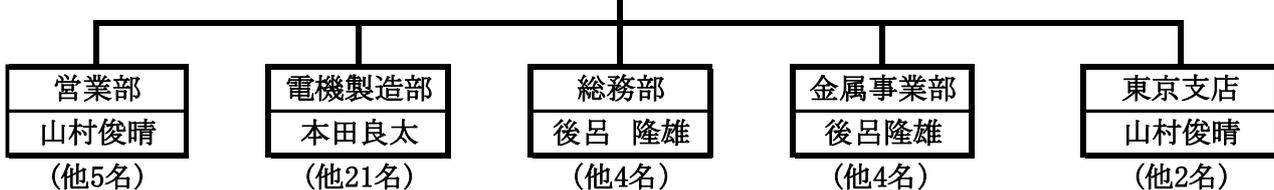
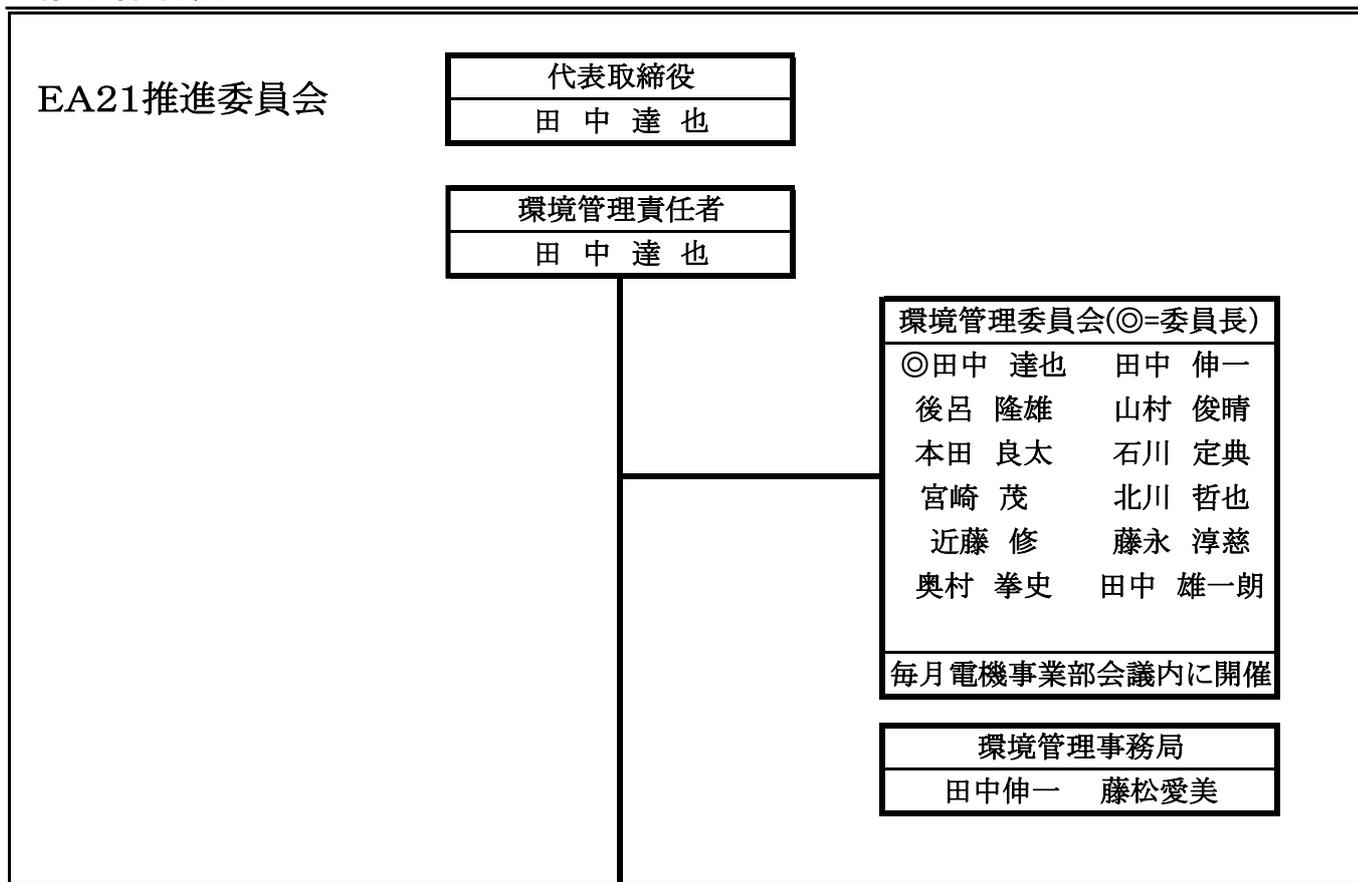
- 【事業所名】 メイトク株式会社
創業 昭和 45 年 6 月 1 日
設立 平成 29 年 4 月 1 日 (名豊工業(株)と特殊電気(株)が合併、社名変更)
- 【代表者】 代表取締役 田中 達也
- 【資本金】 1,000 万円
- 【所在地】 〒470-1168 愛知県豊明市栄町南館 114-22
- 【担当者】 環境管理責任者 代表取締役 田中 達也
環境管理事務局 専務取締役 田中 伸一
TEL (0562)97-1178 FAX (0562)97-1170
- 【売上高】 2023 年度 8 億 8900 万円 (2023 年 3 月～2024 年 4 月)
2022 年度 8 億 8418 万円 (2022 年 3 月～2023 年 4 月)
2021 年度 8 億 4450 万円 (2021 年 4 月～2022 年 3 月)
- 【会社規模】 従業員数 41 名 (2024 年 3 月 31 日現在), 社屋 2419 m², 駐車場 681 m²
- 【事業内容】 ワイヤーハーネス製造及び関連製品の販売
アンテナ機器、金属製家具、医療用具等金属加工品の製造販売
- 【対象範囲】 本社・金属事業部、電機事業部全組織全活動
東京支店 2023 年 4 月運用開始
- 【東京支店】 〒194-0035
東京都町田市忠生 3-1-49 株式会社シー・エス・シー内

3.全社見取り図



4.環境経営活動組織図
推進体制表

2024年3月31日現在



役職	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理システムの総責任者 環境方針を定める 環境管理責任者を任命 資源(人員・設備・費用)の準備 全体の取組状況の評価と見直し
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 教育の実施 実施状況の確認 環境活動の取組結果を確認 環境管理レポートの確認
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> 文書の作成管理 システム運用上の事務管理 環境活動計画実施の実績集計 環境管理レポートの作成
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> 従業員への環境方針・目標・取り組み内容の周知 環境教育訓練の実施及び記録 問題点の発見、是正、予防処置
各リーダー	<ul style="list-style-type: none"> 環境目標達成するための活動の推進・提案
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 本年度(2023年度)環境経営目標

項目	単位	基準値 2013～ 2015年度 の平均値	年次別目標			
			第15年次 2023年4月～ 2024年3月	第16年次 2024年4月～ 2025年3月	第17年次 2025年4月～ 2026年3月	
CO2排出量の削減	CO2排出量の削減	kg-CO2	106,810	100,401	99,333	98,265
		削減 %		6	7	8
	電力使用量の削減	kWh	141,562	133,068	131,653	130,237
		kg-CO2	58,418	54,913	54,329	53,745
		削減 %		6	7	8
	社用車燃料使用量の削減 (ガソリン12190Lx2.32=28281kg) (軽油7795Lx2.58=20111kg)	L	19,985	18,786	18,586	18,386
kg-CO2		48,392	45,488	45,004	44,520	
	削減 %		6	7	8	
一般廃棄物排出量の削減	kg	933	728	718	709	
	削減 %		22	23	24	
産業廃棄物排出量の削減	kg	3,396	2,988	2,955	2,921	
	削減 %		12	13	14	
水使用量の抑制	m3	598	562	556	550	
	削減 %		6	7	8	
グリーン購入の推進	件	0	12	12	12	
環境に配慮した活動の推進	環境負荷物質含有情報等の受発信を行い環境負荷物質の削減を推進する					
環境啓発活動の推進(勉強会の開催)	全従業員を対象に環境教育(勉強会)を毎月開催する					
化学物質使用量の把握	年間の使用量の把握					
効率化不良削減の改善案採用	件	0	2	2	2	
ガス使用量の把握(現状維持) (2.16kg-CO2/m3)	m3	122.195	122.195	122.195	122.195	
	kg-CO2	264.13	264.13	264.13	264.13	
灯油使用量の把握(現状維持) (2.49kg-CO2/L)	L	2,308	2,308	2,308	2,308	
	kg-CO2	5,747	5,747	5,747	5,747	
CO2総排出量	kg-CO2	112,821.13	106,412.13	105,344.13	104,276.13	

電力係数は2020年度調整後排出係数アイ・グリッド・ソリューションズ 0.412 kg-CO2/kWh

2023年度より東京支店分含む。

基準値、東京支店分・電気2014kWh925kg-CO2(エネオス0.459kg-CO2/kWh)

・水道15m³・ガス0.195m³0.61kg-CO2(LPガス3kg-CO2/m³)追加(全社合計で目標設定)

6. 本年度(2023年度)環境経営活動取組内容

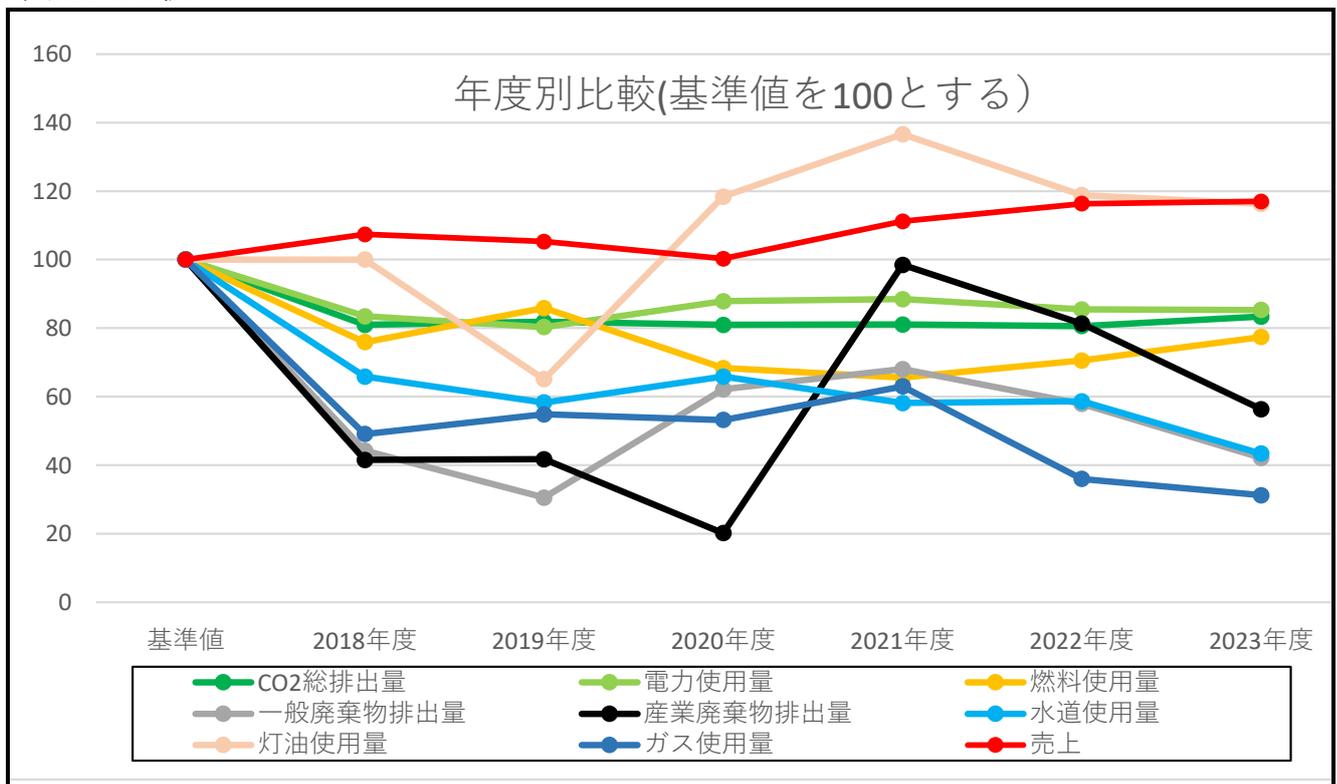
項目	取組み内容	担当者	管理者
①CO2排出量の削減	・電力と社用車燃料の使用量の削減	全員	専務
① - (1) 電力使用量の削減	・毎月の電気使用量の把握	総務	専務
	・照明/冷暖房の時間場所の管理	全員	常務
	・冷暖房設定温度の管理(夏期27℃ 冬期23℃前後)	全員	常務
	・空調設備の点検(フィルター清掃)	工場長	常務
① - (2) 社用車燃料使用量の削減	・毎月の燃料使用量の把握	総務	専務
	・エコドライブの推進	運転者	専務
②一般廃棄物排出量の削減	・排出量の把握	専務	専務
	・分別の徹底(資源ごみ化の向上(雑古紙))	全員	工場長
③産業廃棄物排出量の削減	・排出量の把握	専務	専務
	・分別の徹底(資源ごみ化の向上)	全員	工場長
④水道使用量の抑制	・毎月の使用量の把握	総務	専務
	・節水意識の高揚(節水シール、呼びかけ)	全員	工場長
⑤グリーン購入の推進	・エコ商品 購入の推進(グリーン購入法、エコマーク等)	総務	専務
⑥環境に配慮した活動の推進	・取引先との環境負荷物質含有情報等の受発信	営業	専務
⑦環境啓発活動の推進	・全従業員対象の環境教育(勉強会)の毎月開催	専務	社長
	・環境関係情報シート、環境関係改善提案の活用	全員	専務
⑧化学物質使用量の削減	・使用量の把握	専務	社長
⑨効率化、不良削減の改善提案推進	・改善提案の提出、採用	工場長	社長
⑩ガス、灯油使用量の把握	・使用量の把握及びガス、灯油使用量含むCO2排出量の把握	総務	専務
⑪東京支店取組み推進	・東京支店も同様に取組みを進める	山村	専務

7. 本年度(2023年度)環境経営目標と実績(2023年4月～2024年3月)

項目	単位	基準値 2013～ 2015年度 の平均値	第15年次 2023年4月～ 2024年3月		
			目標	実績	評価
CO2排出量の削減	kg-CO2	106,810	100,401	87,356	○
	削減 %		6	18.2%削減	○
電力使用量の削減	kWh	141,562	133,068	120,786	○
	kg-CO2	58,418	54,913	49,860	
削減 %			6	14.6%削減	
	社用車燃料使用量の削減 (ガソリン12190Lx2.32=28281kg) (軽油7795Lx2.58=20111kg)	L	19,985	18,786	15,469
kg-CO2	48,392	45,488	37,496		
削減 %			6	22.5%削減	
一般廃棄物排出量の削減	kg	933	728	393	○
	削減 %		22	57.4%削減	
産業廃棄物排出量の削減	kg	3,396	2,988	1,914	○
	削減 %		12	43.6%削減	
水使用量の抑制	m3	598	562	253	○
	削減 %		6	57.7%削減	
グリーン購入の推進	件	0	12	12	○
環境に配慮した活動の推進	環境負荷物質含有情報等の受発信を行い環境負荷物質の削減を推進する				○
環境啓発活動の推進(勉強会の開催)	全従業員を対象に環境教育(勉強会)を毎月開催する				○
化学物質使用量の把握	年間の使用量の把握				○
効率化不良削減の改善案採用	件	0	2	2	○
ガス使用量の把握(現状維持) (2.16kg-CO2/m3)	m3	122.195	122.195	38.195	○
	kg-CO2	264.13	264.13	82.69	
灯油使用量の把握(現状維持) (2.49kg-CO2/L)	L	2,308	2,308	2,684	○
	kg-CO2	5,747	5,747	6,682	
CO2総排出量	kg-CO2	112,821.13	106,412.13	94,120.37	○

電力係数は2020年度調整後排出係数アイ・グリッド・ソリューションズ0.412kg-CO2/k
2023年度より東京支店分含む。基準値、東京支店分・電気2014kWh925kg-CO2(エネオス0.459kg-CO2/kWh)
・水道15m³・ガス0.195m³0.61kg-CO2(LPガス3kg-CO2/m³)追加(全社合計で目標設定)

年度別比較



8. 本年度(2023年度)環境経営活動の取組結果の評価

項目	取り組み内容	取組	削減率	目標達成	効果のポイント	課題	次年度引継ぎ
①CO2排出量の削減	・電力と社用車燃料の使用量の削減	○	18.2%	○	電気使用量は対前年横這いだが燃料使用量は増加している。	気候や業務内容により変化するため注視が必要。	継続
①-(1)電力使用量の削減	・毎月の電気使用量の把握	○	14.6%	○	対前年では、ほぼ横這いで目標は達成できているが、この数年は増加傾向にある。照明とエアコン使用が大半を占めており取り組みの成果が出ている。稼働時間や気候に影響を受けるため、特に夏季は気候の影響で単月で未達成の月が発生している。	特に夏季については、マスク着用や熱中症対策でエアコンの運転機会が増えていると思われる。その分他の部分や冬季での節電等の工夫を全員で意識する必要があると考えます。	継続
	・照明/冷暖房の時間場所の管理	○					継続
	・冷暖房設定温度の管理(夏期27℃ 冬期23℃前後)	○					継続
	・空調設備の点検(フィルター清掃)	○					継続
①-(2)社用車燃料使用量の削減	・毎月の燃料使用量の把握	○	22.5%	○	納品専任者による納品統合により削減は効果が出ている。コロナの影響がなくなった点と顧客の拡大により2年連続で増加している。	コロナ禍の終焉、顧客の拡大等により訪問の機会が増加している。より綿密な連携を取り合い社用車のより効率的な動きが必要となると考えます。	継続
	・エコドライブの推進	○					継続
②一般廃棄物排出量の削減	・排出量の把握	○	57.4%	○	対目標、対前年ともに減少している。特に雑古紙として分別していることで排出量が大幅に抑えられている。	製作や電線カット部材ピッキング等システム化によりコピー紙の量が増えているため、より裏紙使用や雑古紙への分別が必要。	継続
	・分別の徹底(資源ごみ化の向上(雑古紙))	○					継続
③産業廃棄物排出量の削減	・排出量の把握	○	43.6%	○	対目標、対前年共に減少している。有価への分別(資源化)の効果が出ている。また、パレットの再利用により木屑の排出量が減少している。	特に金属の廃棄物は分別し有価として処分している。可能な限り分別を推進したいと考える。また、パレットの再利用により特に木屑を減らしたいと考えます。	継続
	・分別の徹底(資源ごみ化の向上)	○					継続
④水道使用量の抑制	・毎月の使用量の把握	○	57.7%	○	節水意識の浸透、水を使用する設備の稼働減が要因。	水を使用する設備の稼働が減っていることも大きな要因、そのため節水の意識は継続していきたいと考えます。	継続
	・節水意識の高揚(節水シール、呼びかけ)	○					継続
⑤グリーン購入の推進	・エコ商品 購入の推進(グリーン購入法、エコマーク等)	○	達成	○	コピー紙についてはエコマークの商品を購入している。		継続
⑥環境に配慮した活動の推進	・取引先との環境負荷物質含有情報等の受発信	○	実施	○	環境負荷物質含有について情報交換をしている。	調査の種類や対象物質が日々増えているため、社内での情報共有が必要。	継続
⑦環境啓発活動の推進	・全従業員対象の環境教育(勉強会)の毎月開催	○	実施	○	勉強会を通して、企業の社会的責任、個人の意識や行動が重要であることを共有でき環境への意識づけができています。	勉強会を通して個々の意識や改善、工夫が環境面のみならず企業の成長にもつながることを共有したいと考えます。	継続
	・環境関係情報シート、環境関係改善提案の活用	○					継続
⑧化学物質使用量の削減	・使用量の把握	○	実施	○	年間使用量約56kgのためPRTR法該当せず。(対象物質合計約6kg)	年間使用量と化学物質含有量の把握を継続する。	継続
⑨効率化、不良削減の改善提案推進	・改善提案の提出、採用	○	達成	○	二点採用しました。	提案、実施、確認、展開、定着、見直しにより改善活動をより推進したい。	継続
⑩ガス、灯油使用量の把握	・使用量の把握及びガス、灯油使用量含むCO2排出量の把握	○	実施	○	合計904,120.37kg-CO2	引き続き把握する。	継続
⑪東京支店取り組み推進	・東京支店も同様に取り組みを進める	○	実施	○	環境経営活動の範囲に東京支店も含まれた。	目標や実績の数値は全体の数値で管理する。	終了

9.次年度(2024年度)環境経営目標

項目	単位	基準値 2013～ 2015年度 の平均値	年次別目標			
			第16年次 2024年4月～ 2025年3月	第17年次 2025年4月～ 2026年3月	第18年次 2026年4月～ 2027年3月	
CO2 排出量 の 削減	CO2排出量の削減	kg-CO2	106,810	99,333	98,265	97,197
		削減 %		7	8	9
	電力使用量の削減	kWh	141,562	131,653	130,237	128,821
		kg-CO2	58,418	54,329	53,744	53,160
		削減 %		7	8	9
	社用車燃料使用量の削減 (ガソリン12190Lx2.32=28281kg) (軽油7795Lx2.58=20111kg)	L	19,985	18,586	18,386	18,186
kg-CO2		48,392	45,004	44,521	44,037	
削減 %			7	8	9	
一般廃棄物排出量の削減	kg	933	718	709	700	
	削減 %		23	24	25	
産業廃棄物排出量の削減	kg	3,396	2,955	2,921	2,887	
	削減 %		13	14	15	
水使用量の抑制	m3	598	556	550	544	
	削減 %		7	8	9	
グリーン購入の推進	件	0	12	12	12	
環境に配慮した活動の推進	環境負荷物質含有情報等の受発信を行い環境負荷物質の削減を推進する					
環境啓発活動の推進(勉強会の開催)	全従業員を対象に環境教育(勉強会)を毎月開催する					
化学物質使用量の把握	年間の使用量の把握					
効率化不良削減の改善案採用	件	0	2	2	2	
ガス使用量の把握(現状維持) (2.16kg-CO2/m3)	m3	122.195	122.195	122.195	122.195	
	kg-CO2	264.13	264.13	264.13	264.13	
灯油使用量の把握(現状維持) (2.49kg-CO2/L)	L	2,308	2,308	2,308	2,308	
	kg-CO2	5,747	5,747	5,747	5,747	
CO2総排出量	kg-CO2	112,821.13	105,344.13	104,276.13	103,208.13	

電力係数は2020年度調整後排出係数アイ・グリッド・ソリューションズ 0.412 kg-CO2/kWh

2023年度より東京支店分含む。

基準値、東京支店分・電気2014kWh925kg-CO2(エネオス0.459kg-CO2/kWh)

・水道15m³・ガス0.195m³0.61kg-CO2(LPガス3kg-CO2/m³)追加(全社合計で目標設定)

10.次年度(2024年度)環境経営活動取組内容

項目	取り組み内容	担当者	管理者
①CO2排出量の削減	・電力と社用車燃料の使用量の削減	全員	専務
① - (1) 電力使用量の削減	・毎月の電気使用量の把握	総務	専務
	・照明/冷暖房の時間場所の管理	全員	常務
	・冷暖房設定温度の管理(夏期27℃ 冬期23℃前後)	全員	常務
	・空調設備の点検(フィルター清掃)	工場長	常務
① - (2) 社用車燃料使用量の削減	・毎月の燃料使用量の把握	総務	専務
	・エコドライブの推進	運転者	専務
②一般廃棄物排出量の削減	・排出量の把握	専務	専務
	・分別の徹底(資源ごみ化の向上(雑古紙))	全員	工場長
③産業廃棄物排出量の削減	・排出量の把握	専務	専務
	・分別の徹底(資源ごみ化の向上)	全員	工場長
④水道使用量の抑制	・毎月の使用量の把握	総務	専務
	・節水意識の高揚(節水シール、呼びかけ)	全員	工場長
⑤グリーン購入の推進	・エコ商品 購入の推進(グリーン購入法、エコマーク等)	総務	専務
⑥環境に配慮した活動の推進	・取引先との環境負荷物質含有情報等の受発信	営業	専務
⑦環境啓発活動の推進	・全従業員対象の環境教育(勉強会)の毎月開催	専務	社長
	・環境関係情報シート、環境関係改善提案の活用	全員	専務
⑧化学物質使用量の削減	・使用量の把握	専務	社長
⑨効率化、不良削減の改善提案推進	・改善提案の提出、採用	工場長	社長
⑩ガス、灯油使用量の把握	・使用量の把握及びガス、灯油使用量含むCO2排出量の把握	総務	専務

11.2023 年度環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

・過去 3 年間環境関連法規については、遵守しており違反はありません。・過去 3 年間環境関連機関からの訴訟、指摘はございません。

主な環境関連法規制等

No	区分	法令等の名称	内容	該当	要求事項等	合否	合否根拠
1	愛知県条例	県民の生活環境の保全等に関する条例	駐車場	該当	駐車場内でのアイドリングストップ	○	現場確認
2	法律	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 愛知県 廃棄物の適正な処理の促進に関する条例 豊明市 廃棄物の処理及び清掃に関する条例	廃棄物	該当	委託業者の資格、有効期限、委託契約書確認	○	現場確認
				該当	委託業者の資格、有効期限、委託契約書確認	○	契約書等確認
				該当	マニフェストの管理(照合及び保管保管期間5年)	○	現物確認
				該当	産業廃棄物処理業者現場確認	○	報告書
				該当	産業廃棄物管理表交付等状況報告書の提出	○	申込内容照会
		水銀使用製品の廃棄	該当	混入不可、表示、保管場所の掲示及び破損ないこと 運搬の許可確認、マニフェストへの記載(チェック)		本年度該当なし	
3	法律	自動車リサイクル法	自動車の廃棄	該当	引取業者に依頼 リサイクル料金の負担		本年度該当なし
4	法律	リサイクル法(パソコン等)	パソコン、モニター の廃棄	該当	指定業者にて処分 リサイクル料金の負担		本年度該当なし
5	法律	家電リサイクル法	冷蔵庫、テレビの廃棄	該当	指定業者にて処分 リサイクル料金の負担		本年度該当なし
6	法律	フロン排出抑制法	業務用エアコンの 管理・修理・撤去	一部 該当	機器の設置及び設置環境の保全、機器の点検 (簡易点検)漏えい量の算定及び報告、廃棄時の義務	○	簡易点検 記録簿
7	法律	労働安全衛生法	通知対象化学物質	該当	納入先へのSDSの提出、連絡、作業への周知 ※含有製品を販売する場合該当する。作業に使用 の場合は、形態、また、含有量が少ないため除外	○	現場確認
8	法律	労働安全衛生法	鉛フリーはんだ付作業	該当	銀、すずの取り扱い(局所排気装置の設置)	○	現場確認
9	法律	毒物及び劇物取締法	毒物劇物一般販売登録	該当	毒劇物一般販売業の登録(伝票販売専業) 内容の確認 譲受書の作成、保管(5年間)	○	現物確認
10	法律	騒音規制法・振動規制法	騒音及び振動発生施設	該当	施設の届出(プレス(ベンダー)) 騒音 昼65 朝夕60 夜間50 振動 昼65 夜間60(dB)	○	書類、記録簿確認
11	豊明市条例	豊明市火災予防条例	消火設備、危険物 の貯蔵及び取扱い	該当	可燃性物、危険物等の管理(表示、整理整頓、破損・飛 散予防、貯蔵等) 消防設備(火災報知器、消火設備の設置及び点検)	○	現物確認
12	法律	省エネルギー法	エネルギー使用量	該当	エネルギー使用量(原油換算)の 測定、記録、削減の努力義務	○	簡易計算書
13	業界	環境負荷物質	環境負荷物質の管理	客先 指示	環境負荷物質の管理	○	現場確認

12.緊急時対応訓練

・緊急時対応訓練(火災訓練)を2023年9月28日に実施しました。

手順書を改正する必要はありませんでした。

13.代表者による見直し・指示

・代表者による見直し・指示を6月4日に行いました。

代表者による全体の評価と見直し・指示記録

作成	印
2024/6/4	
田中 達也	

インプット

項目	内容	代表者の指示事項
1 法的要求事項及び同意する要求事項遵守の評価	法関連の確認及び遵守チェック結果 (添付資料による)	法改正等に注意して運用をお願いします。
2 苦情を含む外部からのコミュニケーション	外部からの情報はありませんでした。	外部からの苦情がなく、環境経営活動としては、問題は無いと思います。継続しましょう。
3 当社の環境パフォーマンス	環境活動計画及び結果(数値) (添付資料による)	活動計画及び結果が妥当に記載されています。
4 目標達成度合	達成度 (添付資料による)	全項目で目標達成しており取り組みの成果が上がっていると思います。 前年対比で増加している項目もいくつかありますが、コロナの影響がほぼなくなった点や売上、気候、従業員数、稼働時間に影響を受けるため注視下さい。 2023年度分から東京支店の数値も加えてください。 現状は、在籍3名であり数値が低いため目標、実績は全社合計にて管理してください。(ただし、東京分のみでの把握はできるようにしてください)
5 是正処置及び予防処置の状況	特になし	
6 前回までの代表者による見直しに対するフォローアップ	産廃マニフェストの管理で照合の確認を追加しました。 不適合報告書兼対策報告書の水平展開の有無を追記しました。 東京支店分も活動の対象に含めました。	左記確認しました。 今後もフォローアップをお願いします。 達成率の高い項目もありますが、次年度は削減目標をそれぞれ1%上げて、数年様子を見て下さい。
7 法的要求やその他要求事項の変化等	特になし	法的要求及び要求事項の変化にはくれぐれも注意して下さい。
8 改善のための提案	環境関係改善提案制度の活用	改善提案が活発になるよう努めて下さい。
9 その他	特になし	特になし

アウトプット

1 環境方針 (変更の必要性)	特になし
2 環境目標 (変更の必要性)	達成率の高い項目もありますが、変動の要因もあるため数年様子を見ながら検討ください。
3 環境活動計画及び環境経営 (システム変更の必要性)	必要に応じ各文章、記録簿等の修正、改定をお願いします。
4 その他(総合的な指示等)	事務的な処理について、引き続き分担して進められるような体制づくりをお願いします。